

また、リアルデコ腰見切・巾木同士の継ぎ目部分(側面)にも全面に接着剤を塗布し、乾かないうちに両面テープの離型紙を剥がして、施工してください。

なお、リアルデコ腰見切・巾木を長めにカットして無理に押さえ込むと、後で浮きやハガレの発生するおそれがありますので、カンナ・ヤスリ等を用いて長さを調整してください。リアルデコ腰見切・巾木の取付け位置が正確であることを確認した後、十分な圧着を行ってください。

最後に、針釘(もしくはタッカー等)をリアルデコ巾木に打付け、しっかりと固定してください。

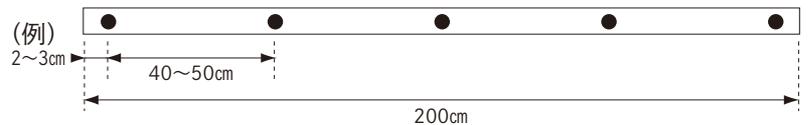
針釘等はリアルデコ腰見切・巾木の両端部2~3cm付近と、その間の箇所では40~50cm間隔になるよう均等に打付けてください。



側面に接着剤を塗布

※はみ出した接着剤は速やかに拭取ってください。

針釘の打付け



5 リアルデココーナー材の施工

リアルデココーナー材は、リアルデコの上から重ねて施工することも可能です。

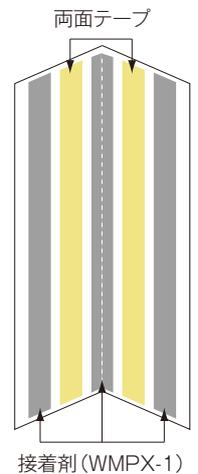
リアルデココーナー材の裏面には、あらかじめ両面テープが付いていますので、必ず施工用接着剤「WMPX-1」を併用して施工してください。

まず、リアルデココーナー材を貼付ける箇所の寸法を正確に測定し、カットしてください。

次に、リアルデココーナー材裏面の3箇所(右図参照)に接着剤を塗布し、両面テープの離型紙を剥がして施工してください。なお、リアルデココーナー材を長めにカットして無理に押さえ込むと、後で浮きやハガレの発生するおそれがありますので、ヤスリ等を用いて長さを調整してください。

リアルデココーナー材は、ヨコから隙間が見えないよう、十分に圧着してください。また、接着剤がはみ出した場合は速やかに拭取ってください。

注意 重ね貼りでも十分な接着強度がありますが、過度の力が加わると、リアルデコごと剥がれてくる可能性があります。そのような状況があらかじめ想定される場合には、接着剤「WMPX-1」を併用し、リアルデココーナー材を下地に直接貼付けてください。リアルデコがすでに施工されている場合は、リアルデココーナー材を施工する部分の出隅から1.5cmまでの壁紙を裏紙まで全て剥がしきり、下地面を完全に露出させてから適切な下地処理を行い、「WMPX-1」を併用して貼付けてください。



<備考>

リアルデココーナー材の最上部が目線より低い場合、小口(カット面)の色が目立つことがあります。その場合は市販の補修ペンで補修してください。

(補修ペンの対応品番は、当資料集P.85~86をご参照ください。)



6 清掃・補修

表面に付着した糊や汚れなどは、きれいな水を含ませた布ですぐに拭取ってください。リアルデコ腰見切・巾木同士の継ぎ目が目立つ部分は、市販の補修ペン等で補修してください。リアルデコ腰見切・巾木・コーナー材のスキマや針釘を打付けた部分などは、コーキング剤を充填して補修してください。補修用副資材(補修ペン、コーキング剤)の対応品番は、当資料集P.85~86をご参照ください。